

キャッチフレーズ「MOTTAINAI」

協会・ホテレス実行委員会・委員長 庄司 四郎

毎年春に行なわれる恒例の「国際ホテル・レストラン・ショー」が今年は3月14日～17日の4日間、東京ビッグサイト東1～6ホールで開催された。

2年前からフードケータリングショー、厨房設備機器展との合同展示会となり、名実ともに、“ホスピタリティー”と“食”のアジアNO1トレードショーとして10万人を集める規模となった。

当協会は、3小間を使い、メインのキャッチフレーズを『MOTTAINAI』とし、いろいろな“MOTTAINAI”の事例としてエネルギーの無駄使い、水の流しっ放し、配管の汚れ等をパネルと実物とで展示して来場者に訴えた。別の壁面では、この2月に発行された「日本旅館の20指標」のPRパネルを展示した。

例年どおり「設備のリニューアルに関する無料相談コーナー」を開設し、旅館・ホテルの方々の相談に対応した。

また、会場内の会議室で『エコに無関心な旅館・ホテルは世間から見放される』をテーマにセミナーを開催し、「旅館〔勝ち組〕の条件と経費節減事例」と「旅館の20指標」についての基調講演を行い、続いてJPNのエコチャレンジ項目と環境への取り組みについてのパネルディスカッションを開催した。80名を超える参加者があり、盛況であった。

協会ブースに立ち寄られた方は120名以上で、展示などを通して、旅館・ホテルの関係者が省エネ・エコロジーの問題に特段に関心が深く、設備の改善・改修にも真剣に取り組んでおられることを改めてうかがい知ることが出来た。



当協会ブース全景



いろいろな“MOTTAINAI”コーナー



エコ20指標コーナー



パネルディスカッションの様様